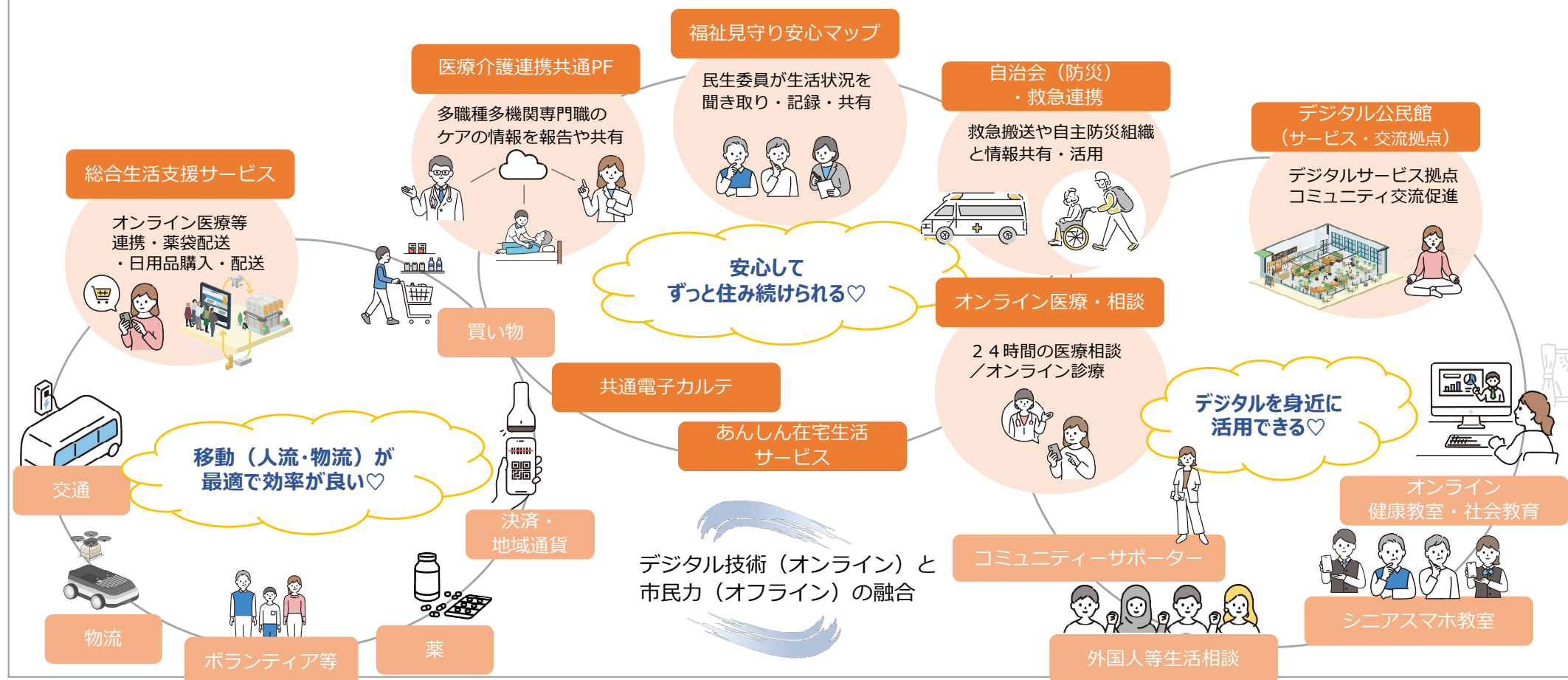


事業概要：「スマートインクルーシブシティ構築事業」

実施主体	石川県能美市	事業費	84,084千円
概要	地理的に買い物や医療等の生活基盤が分散により、属性を問わず、移動が困難な人は、地域で住み続けることや、孤立無縁のリスクが高い。この課題を解決するため、医療介護の共通プラットフォームや地域の見守りに活用する福祉見守り安心マップのサービスを構築し、医療・介護・福祉での情報の共有と生活支援の仕組みを構築する。これにより、孤立することなく、車がなくても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちを実現する。		

デジタル技術（オンライン）と市民力（オフライン）の融合による誰もが孤立せず安心して暮らし続けることができるまち



事業概要：「スマートインクルーシブシティ構築事業」（公表用）



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

実施主体	能美市	事業費	84,084千円
概要	地理的に買い物や医療等の生活基盤が分散により、属性を問わず、移動が困難な人は、地域で住み続けることや、孤立無縁のリスクが高い。この課題を解決するため、医療介護の共通プラットフォームや地域の見守りに活用する福祉見守り安心マップのサービスを構築し、医療・介護・福祉での情報の共有と生活支援の仕組みを構築する。これにより、孤立することなく、車がなくても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちを実現する。		

背景・対応方針

課題

- ・地理的に多様で中心街もなく生活機能が分散しており、属性問わず車が不可欠で孤立無援のリスクが高い。
- ・高齢者の増により住み慣れた地域で住み続けるために、在宅医療介護体制の連携強化が必要。
- ・市民力を活かした地域の見守り強化が必要

解決策

- ・在宅医療介護の情報共有プラットフォームを構築し、多機関多職種の情報連携と対象者へのサービスとデータを集約する。
- ・福祉見守りあんしんマップをデジタル化し、情報鮮度をあげ、地域見守りや防災、救急との連携を図る。
- ・オンライン医療や買い物支援等を連動させた総合生活支援サービスにより、車がなくても生活できる仕組みをつくる。
- ・地域資源（公民館等）をサービスと人の交流拠点としてアップデートし、人のつながりを促進する。

医療介護連携共通PF

多職種多機関専門職の
ケアの情報を報告や共有



福祉見守り安心マップ

民生委員が生活状況を
聞き取り・記録・共有



自治会（防災） ・救急連携

救急搬送や自主防災組織
と情報共有・活用



実現する姿

- ・市内多機関多職種の在宅医療介護の質の向上と機能強化、市民力を活かした連携強化促進に寄与する。
- ・移動が少なく、車がなくても医療や介護サービス、買い物等、安心して暮らし続けることができる仕組みが実現する。

将来構想・順次構築

あんしん在宅見守り サービス連携

スマート家電等から
健康管理・生活状況
把握／見守り



総合生活支援サービス

オンライン医療等
連携・薬袋配送
・日用品購入・配送



デジタル公民館 （サービス・交流拠点）

デジタルサービス拠点
コミュニティ交流促進



あんしん子育てサー ビス

こども園の午睡管理
オンライン医療相談



あんしん防災サービス

避難所チェックイン
避難物資調達管理



人材育成・創業支援

SteamLab
プログラム教室
スタートアップ支援

